

東広島キャンパスの交通事情と交通安全

交通問題対策委員会専門委員長 杉 惠 頼 寧
(Sugie, Yoriyasu)



車社会になった現在、どこでも交通問題は大きな社会問題となっている。とりわけ、東広島市に統合移転をした広島大学は、これまでに多くの学生を失っており、決して見過ごせない状況になっている。

失われた空間を取り戻したいという新しい価値観で構想された新キャンパスであったが、今や、構内への車の乗り入れに伴う駐車場不足の問題、さらに、歩行者を脅かす横暴運転に悩まされている。

明日は我が身としての対応を考える。



東広島キャンパス内の制限速度は20km/時

若者の交通事故

昨年一年間の交通事故死者数が九年前に一人を割ったことが、この正月明けの新聞で報道されました。しかし、それでも一人近く、尊い命が失われており、交通事故に遭遇する危険性は依然として高い水準にあります。

平成六年の統計によると、十八〜二十四歳の若者の死者数は全体の二三・四％で、その人口構成率一三・八％を大きく上回っています。一生のうちで、六十五歳以上の高齢者に次いで最も危険な時期です。

死亡事故の状態を見ると、自動車乗車中が四二・一％と最も多く、若者の自動車運転はくれぐれも注意が必要です。自動車は非常に便利な乗り物ですが、常に交通事故の危険性を孕んでいます。その危険性を大きくするか小さくするかは、個人の日頃の心がけ次第です。

交通事故の危険性を皆無にすることは不可能ですが、その確率を小さくすることは可能です。日頃から交通安全に関心を持ち、交通事故の危険性を回避するような行動を習慣づけてください。

東広島キャンパスの交通事情

教育研究の中心となるアカデミックエリアは、医学部、歯学部を除いた九学部の建物群がぶどう池の回りに配置されています。キャンパス内は「開かれた大学」として、どこからでも出入りできるようにしており、自動車も六箇所ある出入口から自由に入構できるようになっています。

昨年十二月の調査によると、キャンパス北側の二箇所出入口から流出入する交通量が最も多く、全体の四一％を占めています。これは北地区が最も駐車場が多いことによるものですが、このことは北地区が一番車で混雑することを意味しています。

キャンパス内はサービスク線と呼ばれる道路が、逆U字型に配置されており、各学部間の連絡道路として利用されています。駐車場はキャンパスの外周道路とサービスク線の間に分散して配置されており、近くの出入口からアプローチすることによって、学内の通過交通はできるだけ排除するようになっています。線形も曲線を多く取り入れることによって通過しにくいよう

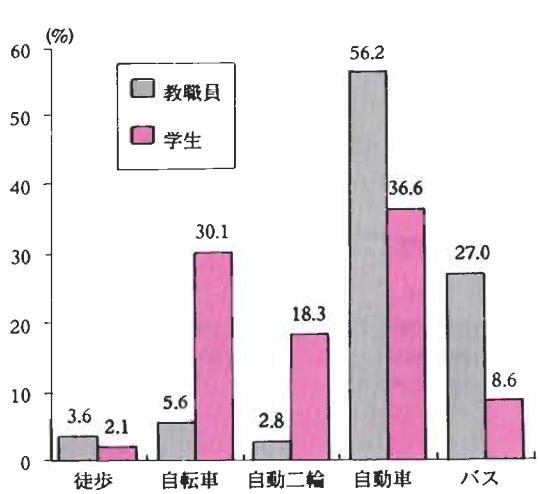
な設計になっています。

しかし、昨年発生した恐喝暴行事件の対策上、午後九時以降の自動車の出入り口は北側の中央口一箇所に限られています。午後九時以降の歩行者の横断は、特に注意が必要です。また、午後五時以降は交通指導員による違法駐車車の取締りがないため、路上に不法駐車が増え、見通しが悪くなりますので、車両の通行にはくれぐれも注意してください。

なお、サービスク線の内側は、広場や公園の整備が進められており、近い将来歩行者のための、安全でかつ楽しい空間になります。このような地区へ自動二輪で乗り入れるようなことは厳に慎んでください。

駐車場の不足

東広島キャンパスには、現在、約三三〇〇台分の駐車場がありますが、昨年十二月の調査によると、約九〇〇台分の駐車場が不足しています。キャンパス周辺は交通の便が悪いこともあって、自動車による通勤、通学の需要が大きく(図参照)、駐車場の整備がそれ



東広島キャンパスへの交通手段(平成8年12月)

自動二輪による通学は学部一年生にも禁止されています。一年生にも禁止されています。希望される人は総合科学部の事務室に申し出て、駐車証の交付を受けてください。入学時の交通安全講話を受けていれば、その申請は一年間有効です。

昨年十二月の調査によると、午後のピーク時、自動二輪は一七三三台、自転車は五二四九台駐輪してありました。他の車両、歩行者に迷惑とならないように、定められた場所に整頓して駐輪してください。

交通安全の取り組み

大学では、学生諸君の交通事故を少なくするために、入学時をはじめ、いろいろな機会を設けて交通安全の講習会を実施しております。自動車を運転する人は、しない人に比べて交通事故の危険性は飛躍的に増大します。その危険性を小さくするために、このような講習会に積極的に参加し、交通事故を回避する知恵を身につけてください。

短期間ではその効果は小さいかも知れませんが、一生のうちでは、大きな差が出てくることは間違いありません。しかし、交通事故の危険性から完全に



大学本部東側の急カーブに注意

逃れることはできませんので、約半分の人が一年生うちに運転免許を取ると思いますが、自動車を運転する場合は、必ず任意保険に入ってください。キャンパス内の実際の交通安全指導は、外部に委託した交通指導員が行っていますので、彼らの指示に従って行動してください。

講義の中にも、交通安全の知識を深めるために「交通社会論」という総合科目が一年生の後期に準備されています。これは、総合科学部の菊地邦雄教授の責任のもとに、全学から交通安全に関わりのある教授陣とともに学外から広島県、JAFからの講師の協力を得てなされるものです。受講すれば当然単位になり、自己の交通安全に必ず寄与するものと考えられますので、ぜひ受講してください。

最後に、交通事故に遭わないで楽しい学園生活を送り、全員が無事に社会へ巣立っていくよう願います。

東広島大学交通安全白書